



「信州未来共創戦略～みんなで作る2050年の長野～（仮称）案」に対するご意見を募集します

2050年を展望して明るい将来ビジョンを取りまとめるため、今年4月から県内各地で県民等との意見交換を重ねるとともに、6月、9月、11月の県民会議※準備会合で議論を行いました。この度「信州未来共創戦略～みんなで作る2050年の長野～（仮称）案」を公表しましたので、この戦略案について県民の皆様から広くご意見を募集します。

※県民会議：県民、企業、団体、行政など様々な方々の参加を得て、戦略を進めるためのプラットフォーム

1 募集事項

「信州未来共創戦略～みんなで作る2050年の長野～（仮称）案」へのご意見

2 募集期間

令和6年11月28日（木）～令和6年12月11日（水）

3 閲覧方法

長野県ホームページをご覧ください。

<https://www.pref.nagano.lg.jp/kikaku/kensei/soshiki/shingikai/ichiran/sogokeikaku/shoushikajinkougensyou.html>

また、県庁総合政策課及び各地域振興局企画振興課でもご覧いただけます。

4 提出先及び提出方法

ホームページの意見フォーム、郵送又はファクシミリにより提出してください。

【提出先】 長野県 企画振興部 総合政策課 総合計画担当（令和6年12月11日（水）必着）

・意見フォーム：<https://forms.office.com/r/usjSmw0cQx>

・郵送：〒380-8570
（県庁専用郵便番号につき住所記載不要）

・ファクシミリ：026-235-7471



5 ご意見の取扱い

- ・お寄せいただいたご意見に対する個別の回答はいたしませんので、ご了承ください。
- ・電話及び口頭でのご意見には対応できませんので、ご了承ください。
- ・回答にご記載いただいた情報は、他の目的には一切使用しません。

【信州未来共創戦略～みんなで作る2050年の長野～（仮称）案】

本戦略は、明るい未来のビジョン（2050年のありたい姿）を実現するため、行政、企業、地域、県民一人ひとりが具体的な行動を起こすための羅針盤となるものです。いただいた意見も踏まえ、本年12月23日に設立する県民会議で決定する予定です。

こどもまんなか

みんなで作ろう！こども・子育てに優しい信州

（問合せ先）

企画振興部 総合政策課 総合計画担当
（担当）齋藤、矢島、中澤、木内

電話 026-235-7014（直通）

E-mail keikaku@pref.nagano.lg.jp

「私のアクション！未来の長野創造県民会議（仮称）」の 参加者（団体・個人）を募集します

人口減少によって生じる様々な問題に、行政・民間が垣根を越えて協力し、行動を起こしていくため、「信州未来共創戦略～みんなでつくる 2050年の長野～（仮称）案」を取りまとめました。

この戦略を推進するため、その趣旨に賛同する皆様に広く参画いただく「私のアクション！未来の長野創造県民会議（仮称）」を12月23日（月）に設立します。

多くの皆さまのご参加をお待ちしています。

1 活動内容

戦略の決定・改定、戦略の推進（戦略と活動のイメージは別紙をご覧ください）

2 参加要件

- ・戦略策定の趣旨に賛同する団体・個人（宗教団体・政治団体・暴力団を除く）
- ・「人口減少について、団体・自身ができること・したいこと」をご記載ください。
【個人として参加する場合の記載イメージ】
「父親として、家事・育児の時間を増やす」、「再配達がないように受取場所に行く」、「移住者や外国人が地域に溶け込めるよう親切にする」など
- ・なお、出席に係る報償費や旅費等はございませんので、ご了承ください。

3 参加申込方法

ながの電子申請サービスからお申込みください。随時募集しています。

https://apply.e-tumo.jp/pref-nagano-u/offer/offerList_detail?tempSeq=51129

【設立会】

- ・12月23日（月）13時から設立会を開催する予定です。
（長野市内を予定）
設立会の詳細については、後日改めてプレスリリースします。
- ・設立会への出席を希望する場合は、12月15日（日）までにお申し込みください。



【信州未来共創戦略～みんなでつくる 2050年の長野～（仮称）案】

本戦略は、明るい未来のビジョン（2050年のありたい姿）を実現するため、行政、企業、地域、県民一人ひとりが具体的な行動を起こすための羅針盤となるものです。

本文は、県ホームページをご覧ください。

<https://www.pref.nagano.lg.jp/kikaku/kensei/soshiki/shingikai/ichiran/sogokeikaku/shoushulikajinkougensyou.html>

こどもまんなか

みんなでつくろう！こども・子育てに優しい信州

（問合せ先）

企画振興部 総合政策課 総合計画担当
（担当）齋藤、矢島、中澤、木内

電話 026-235-7014（直通）

E-mail keikaku@pref.nagano.lg.jp

2050年

7がけ社会がやってくる!?

2050年の長野県は…

- 人口は2001年のピーク時から**約3割減少** (159万人)
- ただちに出生率が回復してもしばらく**人口減少は続く**
- 高齢化率は**4割超**
- 現在、**若者、特に女性の転出超過が深刻** など

長野県が
100人の村とすると

2020

総人口は
78人の村となり

2050

65歳以上	☹️	32人 (32%)	➡️	33人 (42%)
15~64歳	😊	56人 (56%)	➡️	38人 (49%)
0~14歳	😊	12人 (12%)	➡️	7人 (9%)

人口減少で
困ること

担い手不足

医療・福祉・交通
・物流サービス低下

地域のコミュニティ
弱体化

インフラや行政サービスの
維持

消費の減退
産業の競争力低下

社会保障
税負担が増加

空き家や空き地の増加
娯楽施設の撤退

ひとり一人にあった
学びの実現

誰もが社会で
活躍できるチャンス

人口減少下の
希望の種

新たな
ビジネスチャンス

行財政改革や
まちの再生

AI・ロボット技術等
の飛躍的な発展

約150回の意見交換を実施

県民をはじめ長野県に縁がある方々と、人口減少の現状を共有し、2050年のありたい姿を考えました。(約150回、3,000人が参加)

- HOPE2050若者との県民対話
一緒に創ろう信州の未来をー

知事と若者との県民対話を県内4か所で実施。
若者の視点で2050年のありたい姿を考えました。

「ありたい姿」

を実現するには
現状を続けていくだけ
ではダメ!

Re-think

“当たり前”を問い直す
考え方のパラダイムシフト
が必要

再配達って
当たり前?

地域の
お茶くみは
女性のしごと?

LET'S!

寛容な社会づくり

① 若者・女性から選ばれる寛容な社会づくり

若者 ▶ 若者の可処分所得が**県民平均以上に向上**

性別 ▶ 家事・育児時間の男女格差 **2.0倍未満**

子育て ▶ 男性の育児休業取得率 **85%以上**

子ども ▶ 全天候型の子どもの遊び場が増える

多様性 ▶ 無償で日本語や日本文化を学ぶ場がある

学び ▶ 最先端のSTEAM教育※・英語教育

※STEM(科学(Science)、技術(Technology)、工学(Engineering)、数学(Mathematics))を統合的に学習する教育に、芸術(Arts)の創造性教育を統合する教育手法

LET'S!

信州暮らし

② 信州の強みを活かした移住・関係人口の増加 ～暮らし、つながる仲間を増やそう～

▶ 年間移住者数 **10,000人以上**

▶ 移住希望地ランキングで**1位を獲得**

2050

ありたい姿

みんなで達成しよう!

2030

の旗

今の子どもたちが大人になる
2050年に向け、

2030年までに達成したい

当面の目標

(主なもの)

LET'S!

まち・むらづくり

③ 安心・便利で持続可能な生活圏の整備促進 ～県土のグランドデザインを策定・実現しよう～

▶ 安心・便利で持続可能な**県土のグランドデザイン**をつくる

▶ コンパクト・プラス・ネットワーク&レジリエンス※
によるまち・むらづくりについて議論し、具体的な事業に着手

※住居や商業施設、公共施設等が適切に配置され、
そこに交通ネットワークならびに情報ネットワークで利便性高く
アクセスでき、防災力にも優れた圏域を形成すること

LET'S!

経営等の革新

④ 変革期を乗り越える経営等の革新

労働生産性・グローバル

▶ 多くの事業所が**DX**や**リスキング**を積極的に推進

▶ 訪日外国人旅行者の観光消費額 **1,000億円**

人材・省力化

▶ 女性の就業率を**70%以上**とし、高齢者の就業率**全国1位**を維持

▶ 法定雇用率適用事業所で雇用される障がい者数 **9,000人以上**

共創

▶ 圏域ごとに行政体制のあり方について議論され、
それを踏まえた取組が行われている

信州未来共創戦略

みんなで作る2050年の長野 (仮称)

を進めるための

けんみん
県民



かいぎ
会議

参加者募集!!

がはじまります!

長野県から
日本を変えよう!

学ぶ

人口減少の事実と課題

例えば…

- 有識者の話をきいてみよう
- 働き方改革の現場を覗いてみよう



Re-think

問い直す

例えば…

- どんな当たり前があって、どう変えたらいいか、ワークショップで考えてみよう

アクション
行動する

例えば…

- 自分ができることを発表して実行しよう
- プロジェクトを作ってみんなで動かそう

広げる

なかまづくり

例えば…

- 身近な人に取組を伝えよう
- 一緒に取り組む仲間を探そう (コラボしよう)



シンカ

進化・深化

例えば…

- 取組事例をみんなで共有して、自らの取組をシンカしよう



上の活動は一例です。県民会議で考えよう!

※県民会議の名称は「私のアクション!未来の長野創造県民会議(仮称)」(2024年12月の設立会で正式決定予定)

Q どんな人が入れるの?

若者、子育て世代、高齢者、障がい者、企業、団体など、どなたでも参加可能です!

Q 参加費はかかるの?

参加費はかかりません!

Q 遠方だけど参加できるかなあ

大丈夫です!
オンラインでも参加可能です。

Q 子連れでも参加できる?

お子さん同伴でも参加できます!

Q こんな取組あったらいいな!

実現に向けて一緒に考えましょう!

Q メリットは?

スキルアップにつながるほか、一緒に取り組む仲間ができます。

Q 参加したい!

こちらの二次元バーコードから
申し込んでください。
(常時募集中)

